

平成31年度 地域生活サポートセンターららぽ
放課後等デイサービス自己評価表からの改善目標

	チェック項目	改善目標、工夫している点など
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	限られたスペースでの活動の他、小集団での活動や時間差での活動等、効果的な個別支援を目指します。
2	職員の配置数は適切であるか	基準を満たす人員ではありますが、行事や個別対応時には、必要に応じて学生ボランティアの活用など、サービスの質の向上を目指し、配置数の確保をしていきます。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	記録のあり方や公開の仕方など、計画的な支援とサービスの正当性を示せるよう事業所内研修で協議していきます。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	利用者の成育歴調査や「つなぎ」を意識した連携方法を確立していきます。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	地域の校区内にある、「こまどり児童館」とは、連携に向け指導員の顔合わせをしています。交流を希望する利用者には、機会の提供をしていきたいと考えています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	必要に応じて、ご家庭に事業所での取り組みの共有やスキル練習を通し、お互いに対応力の向上や共通認識が持てるようにしていきます。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束の実施例はありませんが、実施の際は必ず個別支援計画に明記することとし、ご本人、ご家族の同意を得て実施します。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	初回アセスメント時に必ず食物アレルギー、アレルギー症状の確認をお願いしています。